和教時報

2019年10月15日（火）発行　第1954号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

「きっかけグッズ」を活用して「組合に入って！」と呼びかけよう！

四月以降、皆さんの奮闘で七〇名の方を和教組に迎え入れることができました。仲間が増えると元気がでます。「秋の声かけグッズ」を活用して、「あなたも和教組へ！」と呼びかけましょう！

忙しいからこそ、「集まり」「語り合い」「仲間を増やそう！」

異常な忙しさの中で、教職員がバラバラにされています。忙しいからといって、あきらめて、何もしなければ、ますます状況は深刻化してしまいます。「忙しいからこそ集まろう」を合言葉に、時間や場所を工夫して、たとえ短時間でも集まり、子どものことやお互いの悩み、不満など語り合うとともに、組合を大きく・強くし、働きやすい職場をつくっていくために、「あの人に声をかけよう」と相談し、仲間を増やしましょう！

気軽に声をかけよう！

組合加入してくれた方の中には「初めて声をかけられた」という方が結構います。大勢の未組合員の方は「声かけ」されていないのではないでしょうか。「ボールペン」や「知って得するパンフ」「確定交渉お誘いビラ」などを手渡しながら「組合に入って！」と気軽に声をかけましょう！

確定交渉へ誘って！

賃金・労働条件改善、多忙解消など、私たちの切実な要求実現をめざして、県教委との確定交渉が始まります。（日程等は三面に）組合の姿がもっとも見えるのが確定交渉です。忙しい中ですが、職場で誘い合って、ぜひ、交渉に参加して下さい。

「教育のつどい（県教研）」、今年は有田で開催！

一一月二九日（金）きびドーム、三〇日（土）有田中央高校で「教育のつどい（県教研）」が開催されます。二九日はTVでも活躍されている「全日本おばちゃん党」の谷口真由美さんの記念講演が行われます。三〇日は教科・課題別に二〇の分科会があります。県下各地の教職員が集まり、実践交流できる貴重な機会であり、組合の値打ちを知ってもらえる絶好の機会です。「一緒に行こうよ」と声をかけ、和教組への加入を呼びかけましょう！

輝いてワンショット　**みんな真剣に分会活動の報告を聞いています**
（職場活動交流合宿より）

ピンのスポット ㊷

いよいよ消費税が十％になりました。増税分は二％ですが、あなたにとってはどうですか？たかが二％、されど二％！

安倍首相は「動向を注視していく」と述べていますが、悪い方向に向かえば何らかの政策をとってくれるのでしょうか？これまで増税のたびに消費の冷え込みや買い控えの風潮がひろがり、景気の悪化が伝えられてきました。しかし、時の政府は何ら有効な手立てをとらず、増税が「あたりまえ」になるのをひたすら待っているだけではなかったでしょうか？増税分が本当に国民のために使われるのならいざ知らず、これまでのように大企業のためだとしたらどうですか？

消費税制度が導入されて三〇年。自分がおさめた税金は自分たちのために使ってほしいものです。（Y）

第二八回養護教員部近畿ブロック学習交流集会

若い方に活動内容と大切さを知ってもらえた

養護教員部　副部長（那賀中）　豊田　雅世

第二八回養護教員部近畿ブロック学習交流集会が六年ぶりに和歌山県で開催されました。

近畿各地から九七名の参加のもと、午前中には高野山大学准教授の森崎雅好先生をお招きして「子どもの心の光と影―わだかまりを少しでもほぐすためには―」という演題でご講演をしていただきました。子どもの問題行動に潜む背景について、臨床心理士の立場から詳しく、また森崎先生が関わった事例を紹介しながらわかりやすく教えていただきました。また私たちが日頃保健室で子どもたちと関わっていく上での大切なヒントを沢山いただくことができました。

午後からは、「子どもを主体とした健康教育」「保健室から共同の学校づくりへ」「養護教諭の仕事」の三つの分科会が行われました。それぞれ出されたレポートを元に、討論の柱に基づきながら、三時間というかなり長時間の分科会でしたが、終始活発な意見交流が行われていました。

今回の交流集会には、若い先生方も多数参加してくださっていて、養護教員部の活動内容や大切さについて知ってもらえる良い機会になったように思います。お忙しい中ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。

やっぱり　せんせいふやそう！

東牟婁支部　城南中分会　井上　善雄

子どもと教職員にゆとりと笑顔を！やっぱり「せんせいふやそう」中央集会に参加させていただきました。不慣れな都会の地ということもあり、会場までの道を間違えて到着は開会数分前でした。開会あいさつのあとリレー報告として四つのお話を聞きました。印象に残ったのは一年単位の変形労働時間制というワードでした。

お恥ずかしいことですが、変形労働時間制の中身を全くといっていいほど知らない私は各先生方のお話をポカーンと聞き、ぼんやりと「導入されてはいけない制度なんだ」と感じ、しまった！私ごときが参加すべき集会ではなかった…と反省しきりでした。帰宅後にインターネットで調べた有様です。

その後、会場からの発言として東京都の元保護者の方お二人と滋賀県教組の方（お名前をメモしていませんでした。すみません。）があり、賛同者数（署名）の発表（二八五八八）集会参加者数（二〇六）報告・アピール採択して、上野公園を終点にパレードに出たのでした。今回、集会に参加して、変形労働時間制という制度があり、導入の動きがあるということを知っただけでもいい勉強になったと思います。

多忙解消を！子育て支援の充実を！

9/11　県人事委員会交渉

人事委員会は、県職員の賃金・労働条件について勧告する機関です。和教組は毎年、他の公務労組とともに人事委員会と交渉を行っています。今年も七月の課長交渉に続いて、事務局長交渉に取り組みました。

最大のポイントは国人勧が示した「住居手当の見直し」です。家賃が五万九千円未満の人は全員改悪になる内容です。和歌山県では勧告しないよう強く求めました。

また、職場の多忙の現状を訴え、県教委に改善を強く求めるよう訴えました。育児短時間勤務が取得しにくい実態に対し、担当者は「法律や規則に基づいた制度が、取得にあたって支障があることは問題だ。制度が円滑に運用できるようにすべき」と回答しました。

一〇月一〇日、勧告が出されました。賃金面は国と同じ内容、「住居手当の見直し」には触れませんでした。次は確定交渉です。力を合わせて要求を実現しましょう。

確定交渉日程

第１回（要求書提出）
10月18日(金)　16:30～
教育委員会室

第２回
10月29日(火)
15:00～打合せ　16:00～交渉
南コミュニティセンター多目的ホール

第３回
11月７日(木)
15:00～打合せ　16:00～交渉
和歌山県民文化会館３階特設会議室

第４回
11月14日(木)
16:00～打合せ　17:00～交渉
南コミュニティセンター多目的ホール

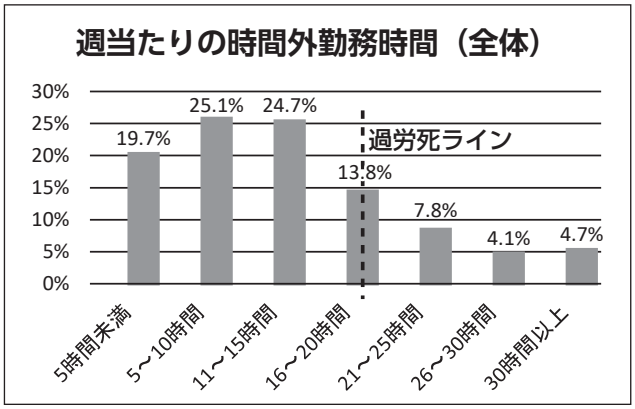
教職員勤務実態アンケート 記者発表しました！

一学期にみなさんからご協力いただいた「教職員の勤務実態アンケート」を集計し、十月九日、記者発表をしました。ＮＨＫなど各社が積極的に取り上げてくれて、社会的な関心の高さを感じました。

一六二〇人の回答を集計し、県内では六人に一人が「過労死ライン」（残業時間月八〇時間以上）で働いていることが明らかになったこと、自由記述欄に「しんどいです」という声が寄せられたことなどを率直に訴えました。記者からは「教員の残業代はどうなっているか？」「県教委のリーフレットに『夏休みはたっぷり三十日』と書いてあるが、どう思うか？」などの質問がありました。

「今後、何を求めていくか？」の問いに対して、「やっぱり教職員を増員してほしい」と訴えました。すでに取り組んでいる「せんせいふやそう」ネット署名をいっそう広げていくとともに、「ゆきとどいた教育を求める全国署名」（教育全国署名）に取り組んでいきましょう。

なお、発表した資料は、和教組ホームページからダウンロードできます。



私のホットメニュー＆勝負メシ

⑨餅と笹ずし

和歌山は餅まきの聖地？

和教組　副執行委員長　山口　法之

暑さがやっとおさまり、秋らしさが日々深まってきました。この季節はあちらこちらの寺社で秋祭りがひらかれ、つきものなのは「餅まき」です。所によっては「餅ひらい」「餅投げ」など呼び名は違いますが、和歌山の餅まきはその数の多さで全国的にも有名なんだそうで、餅まきカレンダーというものもあるそうです。

さて、私は伊都郡の高野山で生まれ育ちました。高野山と言えばお寺。神社も数多くあります。この季節は前述したように、たくさんの餅まきがあり、子どものころは、学校から帰るとすぐにお餅をひらいにいきました。母や妹も行くので、我が家の冷凍庫はいつもお餅でいっぱい。日常的にあべかわ餅や磯辺巻き、雑煮などで食べていました。私は砂糖醤油につけて食べるのが大好きで、おやつ代わりによく食べていたことを思い出します。

もう一つ、この季節によく食べられていたものが「笹ずし」です。今では日常的に食べることが出来ますが、昔はお祭りやお祝い事の時にしか食べることができなかった食べ物です。笹の葉に酢で締めた鯖と酢飯を巻いて作ったものですが、小さいころは鯖が苦手で、シイタケやかまぼこを選んで食べていたように思います。今では具材も豊富になり、いろいろな笹ずしがありますが、今、一番口に合っているのが鯖で、やっぱり年をとったもんだなぁと実感させられます。加齢とともに口がかわるとよく言われますが、小さいころの思い出の味に戻っていくものなのでしょうか？

和教組青年部ツアー

わかま～るin沖縄

―南の島で日本を学ぼう―

2020 2/22－24（土・日・月の3連休です）

主な行程（予定）

【2月22日（土）】
9：00 関西空港集合、普天間基地見学、交流会など（名護市内泊）

【2月23日（日）】
辺野古、南部戦跡など（那覇泊）

【2月24日（月）】
10:20 那覇空港発－12:15 関西空港着（解散）

参加申込み〆切 1月10日（金）

定員30名　参加費20,000円

教弘の事業案内

福祉事業（教弘保険加入者に限定）

- 祝金の給付　　結婚　1万円　　出産　5千円
- 健康増進補助事業　人間ドック等の健康診断に3千円の補助
- マイカー購入補助　マイカーの購入に１万円の補助金
- 宿泊費補助金（教弘指定ホテル）　1泊4千円、年間2回利用可
- 誕生日（55歳と35歳）に記念品を贈呈

貸与奨学金事業（募集期間3月1日～ 4月20日）

- 無利子で奨学金（上限100万円）を貸与

教育研究助成事業（公募期間5月10日～ 6月末日）

- 現職教育活動支援
- 教育研究大会助成（近畿・全国大会）
- 教育サークル等助成

日教弘教育賞実践論文募集（毎年9月末締切）

公益財団法人　日本教育公務員弘済会和歌山支部
和歌山市小松原通3-20　☎073-421-7881